



歯周病と慢性肝疾患病態の関連解明 —新たな肝疾患進展予防施策の探索

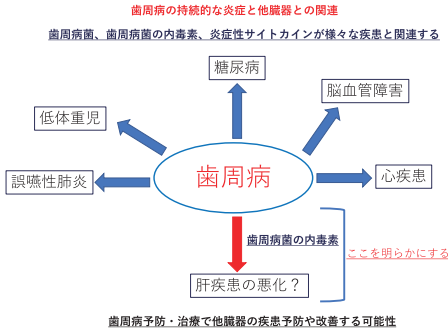
赤羽 たけみ Takemi Akahane

消化器内科学／准教授

■キーワード 脂肪肝、肝硬変、歯周病、内毒素

シーズ概要

非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) の頻度が増加し、これによる肝硬変や肝癌も最近の 10 年間で急速に増加している。NASH の治療法は生活習慣の改善による減量以外に有効な治療法はない。肝硬変は肝疾患の終末像で保存的治療による改善が困難で、現在のところ根治治療は肝移植のみである。最近の疫学的調査では歯周病菌感染や口腔細菌叢の乱れが NASH や肝硬変に関連することが報告されているが、直接の関連性は示されていない。本研究では、歯周病菌感染や歯周病菌由来の内毒素と NASH および肝硬変の病態との関連を解明し、新たな肝疾患進展予防施策を探索する。



研究成果の応用可能性

歯周病の肝疾患に対する影響を証明できれば、歯周病治療は既存の治療法で安全性が確立されているため、すぐに肝疾患の予防や病態の進展抑制の新たな方策に繋がるのが期待できる。そのため本研究によって得られたデータは、肝疾患の重症化予防に貢献することが期待できる。また、同じ研究フレームを活用して他疾患に対する口腔状態の影響を分析でき、今後の研究への科学的根拠にもなり得る。

Appeal Point

アピールポイント

同じ研究フレームを活用して他疾患に対する口腔状態の影響を分析できる。高齢化が進む我が国においては、疾患の重症化予防に期待でき、社会的意義が大きい研究である。

関連文献／特許

- 1.Ladegaard et al. Severe periodontitis and higher cirrhosis mortality. United European Gastroenterol J, 6:73-80. 2018
- 2.Bajaj et al. Salivary microbiota reflects changes in gut microbiota in cirrhosis with hepatic encephalopathy. Hepatology 62:1260. 2015